

2009年 診療科業績

県立中央病院

腎臓内科

維持透析患者（2009年末）

血液透析	138名
腹膜透析	15名

新規導入

血液透析	33例
腹膜透析	3例

急性血液浄化

LDL吸着	24例
-------	-----

その他の血液浄化	3例
----------	----

内シャント関連

人工血管関連 ¹⁾	41件
----------------------	-----

留置型カテーテル関連	13件
------------	-----

腹膜透析用カテーテル関連 ²⁾	8件
----------------------------	----

シャントPTA	5件
---------	----

1) 胸部外科の協力を得て行っています。

2) 外科の協力を得て行っています。

腎生検	7件
-----	----

IgA腎症	41件
-------	-----

その他	13件
-----	-----

呼吸器内科

1) 入院患者	41件
---------	-----

肺癌	8件
----	----

肺炎	41件
----	-----

気管支喘息	19
-------	----

間質性肺炎	37
-------	----

急性呼吸不全	5
--------	---

慢性呼吸不全	18
--------	----

慢性閉塞性肺疾患	20
----------	----

胸膜炎、膿胸	10
--------	----

胸膜中皮腫	1
-------	---

その他	21
-----	----

2) 気管支内視鏡件数	245
-------------	-----

病理検体数	214
-------	-----

3) 剖検数	3
--------	---

4) 上記以外の病理検体	
--------------	--

喀痰	119
----	-----

胸水

62

血液内科

1、造血器腫瘍	103
---------	-----

急性骨髄性白血病	11
----------	----

急性リンパ性白血病	1
-----------	---

骨髄異形成症候群	9
----------	---

慢性骨髄性白血病	7
----------	---

慢性リンパ性白血病	3
-----------	---

非ホジキンリンパ腫	43
-----------	----

ホジキンリンパ腫	3
----------	---

多発性骨髄腫	20
--------	----

形質細胞腫	1
-------	---

原発性マクログロブリン血症	1
---------------	---

原発性骨髄線維症	3
----------	---

成人T細胞性白血病/リンパ腫	
----------------	--

慢性骨髄増殖症候群	1
-----------	---

2、非腫瘍性疾患	8
----------	---

再生不良性貧血	
---------	--

特発性血小板減少性紫斑病	2
--------------	---

自己免疫性溶血性貧血	1
------------	---

遺伝性球状赤血球症	
-----------	--

赤芽球ろう	
-------	--

リンパ節炎	2
-------	---

良性単クローン性γグロブリン血症	
------------------	--

血友病A	1
------	---

伝染性単核球症	
---------	--

血球貪食症候群	
---------	--

DIC	1
-----	---

貧血	1
----	---

消化器内科

上部消化管内視鏡	3,931
----------	-------

内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）	176
------------------	-----

内視鏡的粘膜切除術（EMR）	5
----------------	---

下部消化管内視鏡検査	1,456
------------	-------

内視鏡的粘膜切除術（EMR）	396
----------------	-----

内視鏡的ポリープ切除術	EMRに含む
-------------	--------

ERCP	199
------	-----

HCCに対するラジオ波焼灼術（RFA）	24
---------------------	----

神経内科

年間入院患者数	257
平均在院日数	18.6
外来患者数	5041
外来新患数	828
救急患者搬送数	308
脳血管障害	
脳血栓症	47
脳塞栓症	41
ラクナ梗塞	18
動脈解離	4
血管炎	0
TIA	13
脳出血	5
炎症性疾患	
脳炎	6
髄膜炎	8
その他	0
脱髄性疾患	
MS	5
中毒性疾患	
一酸化炭素中毒	0
薬物中毒	4
内科疾患に伴う神経障害	12
変性疾患	
運動ニューロン病	2
パーキンソン病（症候群を含む）	7
脊髄小脳変性症	3
アルツハイマー病	1
脊椎疾患	
頸椎症	0
腰椎症	1
末梢神経障害	
AIDP	5
CIDP	9
筋疾患	
筋ジストロフィー症	2
筋炎	4
MG	0
ミトコンドリア病	0
PMR	0
横紋筋融解症	1
発作性疾患	
失神	9
てんかん	23
SAS	8
めまい	1
精神科疾患	2

その他

8

1年間での死亡患者数

8

循環器内科

カテーテル血管造影検査（総数）	439
冠動脈形成術（総数）	169
（内 緊急）	69
永久ペースメーカー植込み術（総数）	80
（内 交換）	32
植え込み型除細動器 植え込み	8
（内 交換）	0
電気生理学的検査（検査のみ）	15
カテーテルアブレーション	24

小児科

NICU診療業績

（1）新生児入院患者総数	137
1）院内出生	104
うち母体搬送	27
2）院外出生	33
うち新生児搬送	32
（2）新生児集中治療管理室(NICU)入院患者総数	109
1）母体搬送	24
2）新生児搬送	27
（3）NICU入院患者内訳	
1）出生体重別	
1,000g未満	5
1,000～1,499g	6
1,500～1,999g	29
2,000～2,499g	31
2,500g以上	38
2）症状別	
新生児仮死	1
先天奇形	14
早産及び低出生体重児	71
感染症	1
呼吸障害	13
黄疸	1
嘔吐	1
痙攣	1
腹部膨満	0
発熱	2
その他 低血糖症	2
新生児メレナ	1
離脱症候群	1

3) 人工呼吸管理症例(NCAPを除く)	28
4) 新生児外科手術症例	6

鎖肛
小腸閉鎖
腸回転異常
臍帯ヘルニア
ヒルシュスプルング病類縁疾患

整形外科

手術件数	全身麻酔	381
	腰椎麻酔	336
	その他	347
	計	1064例
手術内容	脊椎・骨盤	96
	肩関節	21
	肘関節	54
	手指・手関節	285
	その他の上肢外傷	21
	股関節	220
	膝関節	108
	足・足関節	90
	その他の下肢外傷	60
	形成：腫瘍	62
	四肢切断	26
	感染・その他	41
	計	1084件

外科

食道癌	11
乳癌	67
胃癌	85
胆石	46
総胆管結石	5
脾良性	4
脾癌	18
胆嚢・胆管癌	13
肝切除	18
肝マイクロ波凝固	2
結腸	89
直腸	28
腸閉塞・腹膜炎・外傷	63
急性虫垂炎	31
ヘルニア手術	66
甲状腺	11
その他	130
計	687

小児外科

診療スタッフ

内山昌則 小児外科部長 昭和48年卒
村田大樹 小児外科医長 平成10年卒

平成21年(2009年)の手術実績ならび入院診療実績

1. 手術総数は120例でした。

鼠径ヘルニア手術・陰嚢水腫手術は45例で、臍ヘルニアは11例、

虫垂炎手術は22例(うち汎発性腹膜炎・腹腔膿瘍は3例)でした。

包皮形成術2例、停留精巣症の精巣固定術5例、精巣捻転摘除術1例、包皮嚢腫1例など小児泌尿器系手術は計9例でした。

肛門直腸会陰部手術は計6例(肛門周囲膿瘍5例、痔瘻1例)でした。

腫瘍手術は10例(うち甲状腺癌1例、卵巣・卵管腫瘍4例、頭部・耳介・頸部・胸腹部・四肢など4例、鼠径部・陰部1例)でした。

呼吸器症状や腹満、嘔吐など消化器症状のある新生児症例を13例治療し(小児科新生児集中治療室と共同で)、うち新生児期手術としては10例(横隔膜ヘルニア、幽門狭窄症、十二指腸閉鎖症、腸回転異常症・軸捻転症、鎖肛など)でした。

乳・幼児期では高位鎖肛人工肛門閉鎖術、腸閉塞症手術、重症多発性腹部外傷手術、鼠径・大腿化膿性リンパ節炎切開術など施行しました。

2. 他に幼児での直腸肛門内圧検査や大腸ならびに食道・胃の内視鏡検査を行いました。

この他に開設以来今まで、気管無形成、気管狭窄、食道閉鎖症A型、食道閉鎖症C型、新生児腹膜炎、小腸閉鎖症、メコニウム病、腹壁破裂・臍帯ヘルニア、仙尾部奇形腫、ヒルシュスプルング病根治術、胆道閉鎖症根治術、腹腔鏡的胆嚢摘除術、腹腔鏡的脾臓摘除術、神経芽腫、縦隔腫瘍、肝腫瘍、脾腫瘍、尿管管開存症、傍尿道嚢腫、尿道脱、内外痔核、腸重積症、耳前瘻、副耳、消化管異物の内視鏡的摘出術、食道狭窄症内視鏡・ブジー拡張術などの手術治療を施行してきました。

3. 入院患児数は計173名で、入院治療患児の平均在院日数は5.3日(鼠径ヘルニア・陰嚢水腫手術は1泊2日)でした。

上記手術・検査入院症例の他、腸重積症の非観血的整復術5例、虫垂炎と鑑別を要する終末回腸炎・腸間膜リンパ節炎・腸炎・大腸炎など腸管炎症疾患28例(カタル性虫垂炎、カンピロバクター腸炎を含む)、腸閉塞症保存療法7例、小児腹部外傷保存的治療5例、吐血・下血・血便など消化管出血疾患症

例5例、消化管異物誤飲4例、排便障害・便秘症2例、胆道閉鎖症術後胆管炎2例、肺炎1例、小児泌尿器系包皮炎・精巣炎・副精巣炎2例などの入院治療を行いました。

胸部外科

呼吸器外科手術	症例数
肺腫瘍	
肺癌	62
転移性肺腫瘍	9
良性肺腫瘍	2
縦隔腫瘍	5
気胸	25
その他の手術	8
呼吸器外科手術のうち胸腔鏡手術	55
心臓血管外科手術	
先天性心疾患	
開心術	0
非開心術	0
後天性心疾患	
弁膜症	18
虚血性心疾患	7
虚血性心疾患の内訳	
on pump CABG	1
off pump CABG	6
その他	0
その他の手術	2
胸部大動脈瘤	
解離性	5
非解離性	10
腹部大動脈瘤	26
末梢血管	48

皮膚科

検査および治療等	
皮膚悪性腫瘍に対する化学療法	1
手術	
皮膚悪性腫瘍の切除術	19

形成外科

形成外科新患者数	574
形成外科入院患者数	120
形成外科手術件数	
入院手術	140
外来手術	249
計	389

手術内容区分

1) 新鮮熱傷	
全身管理を要するもの（非手術例6例）	12
全身管理を要しない局所的なもの	2
2) 顔面骨骨折	12
顔面軟部組織損傷	36
3) 口唇裂	0
口蓋裂	0
4) 手、足の先天異常	2
外傷	9
5) その他の先天異常	5
6) 母斑、血管腫、良性腫瘍	207
7) 悪性腫瘍およびそれに関連する再建	51
8) 瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド	15
9) 褥瘡、難治性潰瘍	12
10) 美容外科	0
11) その他	26
計	389

泌尿器科

手術数は一部検査を含めのべ446件

腎尿管結石に対する体外衝撃波結石破碎術のべ176件（90名、中間施行回数2回）	
根治的腎摘除術	7
腎尿管全摘術	12
腎部分切除術	8
移植用献腎摘出術	0
経尿道的尿管結石摘出術	7
経皮的腎結石摘出術	1
副腎摘出術	4
経尿道的膀胱腫瘍切除術	84
経尿道的膀胱碎石術	7
経尿道的前立腺切除術	34
前立腺全摘術	19
悪性精巣腫瘍に対する高位精巣摘出術	4
包茎手術	6
尿失禁防止術（TVT手術）	3

腹腔鏡手術

副腎摘出術	4
根治的腎摘除術	0
腎尿管全摘術	0
精巣静脈瘤根治術	0

検査

前立腺生検	88
腎盂尿管鏡検査（または腎盂尿管造影検査）	21
経皮的腎・副腎・腫瘍等生検	8件

体外衝撃波結石破碎術は治療3ヶ月後の有効破碎率は約80%（腎結石68.8%,尿管結石91.2%）で重篤な合併症はなかった。

抗癌化学療法	15
尿路上皮癌（腎盂・尿管・膀胱癌）	
メソトレキセート+シスプラチン+5-FU+ファ ルモルピシン	0
ゲムシタビン+カルボプラチン+ドセタキセル	6
ゲムシタビン+シスプラチン	5
その他	2
外来治療	2
精巣腫瘍	
シスプラチン+エトポシド+ブレオマイシン	1
前立腺癌	
ドセタキセル	7

眼 科

白内障手術	306
硝子体手術	62
網膜復位術	4
緑内障手術	13
眼瞼手術（内反症、眼瞼下垂、腫瘍、霰粒腫）	25
結膜手術（翼状片手術）7眼	7
外傷	7
その他（ガス注入、涙道など）	9

合計 433

放射線治療科

脳腫瘍	5
頭頸部腫瘍	36
肺癌	41
食道癌	35
乳癌	53
前立腺癌	19
その他の泌尿器癌	9
婦人科癌	12
肝胆膵腫瘍	9
リンパ腫他	15
直腸/結腸癌	14
骨軟部腫瘍	1
その他	7
良性疾患	6
姑息治療	124
骨転移	61
脳転移	35
その他転移	28

脳神経外科

総手術件数	172
脳腫瘍摘出	19
脳動脈瘤クリッピング	33
血管内手術	6

麻酔科

全手術件数	4594
全身麻酔	1665
硬膜外麻酔（仙骨ブロック含む）	43
脊椎麻酔	1157
静脈麻酔	184
神経ブロック	183
局所麻酔	1349
無麻酔	13
麻酔科担当症例	
全身麻酔	1653
硬膜外麻酔	29
脊椎麻酔	161
静脈麻酔	3
神経ブロック	3
局所麻酔	1
緊急手術	252

歯科口腔外科

(外来患者数)	1479
智歯・埋伏歯等	399
抜歯等	327
その他	98
顎関節疾患	146
腫瘍 良性	38
悪性	18
その他	0
嚢胞 顎骨内	51
軟組織	20
炎症	61
外傷 骨折	24
歯牙脱臼等	25
軟組織	68
粘膜疾患	170
先天・発育異常	27
その他	7
(入院患者数)	251
悪性腫瘍	44
良性腫瘍	7
外傷等	31
嚢胞等	39

炎症等	20
口唇口蓋裂	1
その他発育異常等	0
智歯・埋伏歯等	75
抜歯等	30
その他	4
(手術)	
中央手術室症例数	182
全身麻酔	73
静脈麻酔	105
局所麻酔	4
手術内容	
悪性腫瘍	23
良性腫瘍	11
外傷	26
嚢胞	47
口唇口蓋裂等	1
その他発育異常	0
智歯の抜歯等	49
抜歯等	21
その他	4

産婦人科

丸橋 敏宏（診療部長）昭和52年卒
 大野 正文（産婦人科部長）昭和55年卒
 有波 良成（産婦人科部長）平成元年卒
 島 英里（産婦人科医師）平成19年卒（7～12月）
 以上3～4名のスタッフで診療を行った。

産科：総分娩数は395例あり、そのうち22週以降の死産が1例あった。その他に12週以降22週未満の流産が18例あった。流産の内訳は中絶希望5例、絨毛羊膜炎・前期破水2例、子宮内胎児死亡1例であった。死産例は22週絨毛羊膜炎による早産であった。

死産を除く394例の分娩の内訳は正常経陰分娩が222例、鉗子分娩は24例、帝王切開分娩は148例であった。

立会い分娩は154例で行われていた。

帝王切開の内訳は緊急帝王切開60例、選択的帝王切開88例であった。その適応は前回帝王切開49例、双胎妊娠25例、骨盤位13例、早産2例、妊娠高血圧症候群・胎児発育遅延12例、胎児機能不全20例、前置胎盤3例、分娩進行停止11例、子宮奇形・子宮筋腫核出術後6例、常位胎盤早期剥離3例、母体合併症6例であった。

母体搬送により分娩に至ったものは30例であった。内訳は絨毛羊膜炎・前期破水による切迫早産12例、妊娠高血圧症候群・胎児発育遅延6例、常位胎盤早期剥離2例、前置胎盤1例、胎児機能不全3例、

子宮内胎児死亡1例、胎児奇形1例、臍帯脱出1例、額位1例、児手先進1例、自宅分娩1例であった。また、当院より長岡、新潟に搬送したものが2例あった。これは新生児集中治療室が慢性的に満床状態にあることから当院での分娩が出来なかった例で（昨年と同様に2例）このような症例をなくすことが必要となっている。

婦人科：上越地域の手術症例が集中する施設であり、536例の手術を行った。良性疾患に対する腹式子宮全摘術は99件であった。悪性疾患に対する子宮全摘術は13件であった。主に子宮体癌が対象となる腹式子宮全摘・両側付属器摘出・骨盤リンパ節郭清は16件、子宮頸癌I期が対象となる準広汎子宮全摘術は2件、進行子宮頸癌が対象となる広汎子宮全摘術は4件、子宮頸癌初期の挙児希望者に対する円錐切除術は32件であった。子宮筋腫核出術は19件であった。子宮脱に対する膣式子宮全摘・膣形成は33件、膣形成・膣中央閉鎖術は11件であった。卵巣に対する手術では付属器切除23件、腫瘍摘出34件、悪性卵巣腫瘍に対する手術は24件であった。子宮外妊娠手術は5件、子宮頸管縫縮術は1件であった。その他、再発癌に対する手術が7件あった。産科手術として帝王切開術148件、流産手術19件、人工妊娠中絶術39件、その他の良性手術は7件であった。なお腹腔鏡手術は行っていない。

2009年 悪性疾患入院患者統計

県立中央病院病歴統計室

対 象：平成21年1月1日～平成21年12月31日に
退院した延べ10,377名
尚、比較のため一部19年～20年の統計
も記載した

診 療 科：内科、循環器内科、神経内科、小児科、
耳鼻咽喉科、外科、小児外科、形成外科、
呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、麻
酔科、泌尿器科、眼科、皮膚科、産婦人
科、歯科口腔外科、放射線科

以上の 18科

集計方法

- 1) 退院日を基準とする。
- 2) 疾病分類は「第一診断名」と対象とする。

3) 転科は1退院1件とみなす。

4) 平均在院日数の算定は以下の式で求めた。

$$\frac{\text{退院患者の在院延べ日数}}{\text{退院患者の延べ総数}}$$

統計表種類一覧

表1 悪性新生物疾患別数の推移

表2 悪性新生物の年次推移

表3 診療科別入院患者悪性疾患比

表4 診療科別在院期間別退院患者数

表5 平成21年病類別（大分類）在院日数別患者数

表1 悪性新生物疾患別数の推移（実数）

	平成19年	平成20年	平成21年
口唇、口腔、咽頭の悪性新生物	78	68	60
食道の悪性新生物	86	99	84
胃の悪性新生物	262	298	287
十二指腸、小腸の悪性新生物	3	4	1
結腸の悪性新生物	125	97	131
直腸、S字状、肛門の悪性新生物	54	66	47
肝の悪性新生物	87	97	85
胆嚢、胆道の悪性新生物	36	33	34
膵臓の悪性新生物	45	43	46
消化器その他、腹膜の悪性新生物	3	2	5
喉頭の悪性新生物	20	28	17
気管・肺の悪性新生物	214	203	224
呼吸器、胸腔内の悪性新生物	2	3	0
骨、関節の悪性新生物	2	3	2
皮膚の悪性新生物	22	17	15
女性乳房の悪性新生物	125	101	97
結合組織、男性乳房の悪性新生物	8	6	6
子宮頸、の悪性新生物	22	34	20
その他の子宮の悪性新生物	30	24	25
その他の女性生殖器の悪性新生物	50	45	48
前立腺の悪性新生物	110	108	84
膀胱の悪性新生物	80	84	77
腎、腎盂の悪性新生物	31	30	29
その他の泌尿生殖器の悪性新生物	15	16	18
脳の悪性新生物	15	8	3
部位不明の悪性新生物	102	110	103
白血病	41	30	31
リンパ腫、造血器の悪性新生物	120	121	95
上皮内癌	18	28	25
計	1,806	1,806	1,699

表2 悪性新生物の年次推移〈実数〉

	18年	19年	20年	21年
悪性新生物 (%)	1,721 (18.6)	1,806 (20.4)	1,806 (20.5)	1,699 (18.7)
全疾患	9,254	8,838	8,816	9,109

表3 診療科別入院患者悪性疾患比
(延べ数、重複あり、死亡は実数)

診療科	悪性疾患患者 (%)	良性悪性疾患 総退院患者数	死亡数	
			悪性	総数
内科	836 (35.5)	2,355	163	290
神経内科		278		12
循環器内科	5	887		32
小児科		791		1
外科	566 (53.9)	1,051	66	78
呼吸器外科	94	355	1	4
小児外科	1	167		
整形外科	13 (1.2)	1,045	1	7
形成外科	14 (12.1)	116		2
脳神経外科	22 (4.1)	541	5	50
産婦人科	317 (28.9)	1,098	16	18
耳鼻咽喉科	72 (19.4)	372	9	9
口腔外科	38 (14.6)	260	5	5
眼科		264		
泌尿器科	255 (56.8)	449	19	27
皮膚科	1	103		
麻酔科		91		5
放射線科	149 (96.8)	154	11	11
合計	2,383 (23.0)	10,377	296	551

表4 診療科別 在院期間別 退院患者数〈良性 悪性疾患〉

診療科	総数	1~7	~14	~1M	~3M	~6M	~9M	~12M	~2Y	2Y~	(平均在院日数)
総数	10,377	4,328	2,783	2,044	1,084	117	14	4	3		151,214 (12.68)
内科	2,355	757	636	563	337	53	9				44,403 (18.85)
神経内科	278	64	82	86	45	1					4,843 (17.42)
循環器内科	887	481	191	151	58	6		1			9,359 (10.55)
小児科	791	464	217	61	45	2	1	1			7,850 (9.92)
外科	1,051	304	358	269	108	9	2				16,309 (15.52)
呼吸器外科	355	132	104	100	19						4,157 (11.71)
小児外科	167	136	18	9	4			1			917 (5.49)
整形外科	1,045	312	169	344	209	9	1	1			20,233 (19.36)
形成外科	116	59	24	26	6						1,543 (13.30)
脳神経外科	541	190	95	146	94	13	1		2		11,938 (22.07)
産婦人科	1,098	526	423	100	39	9			1		11,250 (10.25)
耳鼻咽喉科	372	135	176	34	20	7					4,812 (12.94)
口腔外科	260	152	54	32	18	4					2,838 (10.92)
眼科	264	193	41	30							1,703 (6.45)
泌尿器科	449	249	117	53	28	2					4,473 (9.96)
皮膚科	103	67	27	7	2						703 (6.83)
麻酔科	91	76	10	3	2						329 (3.62)
放射線科	154	31	41	30	50	2					3,554 (23.08)

表5 平成21年病類別〈大分類〉在院日数別患者数

疾病大分類 在院日数	計	1～7	～14	～1M	～3M	～6M	～9M	～12M	～2Y	2Y～	平均在院日数
合 計	10,377	4,328	2,783	2,044	1,084	117	14	4	3		151,214 (12.94)
1 感染症及び寄生虫症	320	182	80	40	17		1				3,129 (9.78)
2 新生物	2,815	903	809	619	409	64	9		2		53,134 (18.88)
3 血液・造血器・免疫の障害	52	13	20	11	6	2					974 (18.73)
4 内分泌・栄養・代謝疾患	296	110	79	93	14						3,226 (10.90)
5 精神および行動の障害	20	14	1	1	4						266 (13.30)
6 神経系の疾患	195	83	59	28	21	4					2,804 (14.38)
7 眼および付属器の疾患	264	192	41	31							1,722 (6.52)
8 耳および乳様突起の疾患	77	28	42	7							687 (8.92)
9 循環器系の疾患	1,489	598	311	393	168	17	1		1		23,318 (15.66)
10 呼吸器系の疾患	822	367	261	120	65	9					10,812 (13.15)
11 消化器系の疾患	1,121	560	360	144	52	3	1	1			10,985 (9.80)
12 皮膚および皮下組織の疾患	104	38	36	22	8						1,224 (11.77)
13 筋骨格系・結合組織の疾患	294	55	59	95	84	1					6,315 (21.48)
14 尿路性器系の疾患	431	167	177	58	28	1					4,732 (10.98)
15 妊娠、分娩および産褥	505	303	161	22	15	4					4,405 (8.72)
16 周産期に発生した病態	148	27	39	40	40	1	1				3,643 (24.61)
17 先天奇形・染色体異常	64	36	16	8	3			1			860 (13.44)
18 症状、徴候・異常臨床所見	296	189	65	31	11						2,212 (7.47)
19 損傷、中毒	1,043	448	162	280	139	11	1	2			16,675 (15.99)
20 傷病および死亡の外因											
21 保険サービス	21	15	5	1							91 (4.33)